

荒

※円勢
※字形はやや重心を低く構える

止め

業

蔵鋒

嬉

精

はらいは、
止めるようにして
筆を上にあげる

はねは左へ押し出すように長くはねる

「鄭義下碑」の倣書で書いています。

各文字は空間を包むように大回りに運筆し、

点画にはまるみを持たせています(円勢)。

字形は、やや重心を低く構えます。

業は勤むるに精しく嬉しむに荒さむ
学問は勉強すれば進み怠ればすたれやぶれる

(韓愈)

勤